

和田あき子県議が9月30日、9月県議会（9/21～10/7）で一般質問に立ちました。質問と答弁の要旨を紹介します。



* 浅川ダム試験湛水が延期 安全優先を *

和田 県は当初、過去10月に年最大の降水量が多かったことから、試験湛水は11月1日開始としていたが、その後、10月1日に変更された。その経緯は？

建設部長 再度10月のダム周辺での雨量を確認した結果、影響が少ないと確認し、10月開始とした。ただ、台風18号の影響が予想されるため10月1日からの試験湛水は延期することとした。

和田 10月開始の判断には、安全よりダムの完成が最優先されたのではないかと。試験湛水時の異常事態について、地元説明会では県担当者が「マニュアルはない」と発言。これで安全は確保されるのか。

建設部長 異常を検知した場合は注意態勢・警戒態勢に移行するマニュアルに相当するもので対応する。

和田 土木研究所が調査した124ダム中16.9%で試験湛水時に問題が発生。くれぐれも安全第一で。

* リニア 住民の立場で対応を *

和田 南アルプストンネル長野工区の工事にあたり、残土の処分地がどうなるか地元の懸念となっている。また工事車両の迂回路が保育園や宅老所の近くとなるなど日常生活への支障が心配されている。

リニア整備推進局長 発生土置き場については地区全体の理解を得ながら進めるようJR東海に丁寧な説明を求めていく。工事車両についてJRはこれまでも地元との協議を重ねてきたが、今後も誠実に対応するよう求めていく。

和田 JRは住民説明会をもって「住民の理解が進んだ」旨発言し、住民は「どんな工事が理解することと納得することは違う」と不信、不安を募らせている。県は自治体や住民に寄り添ってJRに対応すべき。

阿部知事 JRには、地域の様々な声に耳を傾け地元の理解と協力が得られるよう、最大限の努力を働きかけていく。

* 県営住宅の網戸つけられない窓枠 建設部長「改修を検討」 *

和田 古い県営住宅には構造上網戸が設置できない窓枠があり入居者の安全・健康面からも網戸がつけられる窓枠に改修すべき。生活保護、困窮世帯等には県として網戸を入れて欲しい。

建設部長 住宅の構造上の改修は県が実施すべきもの。今後速やかに各団地の詳細な実態を把握し、窓枠の改善が必要な建物について改修の検討を進めたい。

生活に困窮されている入居者には家賃減免により必要な費用の負担を軽減している。生活保護制度でも住宅扶助の活用で網戸設置が可能。

* 視覚障がい者の図書の利用性向上を *

録音図書、点字図書館について、視覚障がい者の利用性向上のため貸出窓口の一本化、人件費予算の充実等を求めました。

質問を終えて**和田**

県営住宅の住環境の改善は欠陥住宅というような網戸がつけられない窓枠の改修を求めました。くらし第一の県政へこれからもがんばります。